

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

| | |
|----------|---|
| P T A名 | 静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A |
| 学 校 名 | 静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 |
| 全校児童・生徒数 | 40人 |

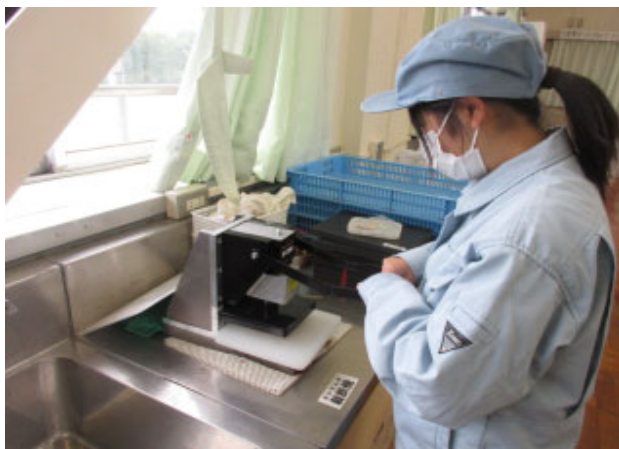
1. 使用状況

| | |
|-------------------|--|
| 寄贈物品名 | ハンドプレス機（抜き型用工具） |
| 使用学年及び人数 | 高等部1～3年生 |
| 使用頻度 | 作業学習（週2回） |
| 使用状況 | <p><革工芸班> ・革工芸班では、丸型、猫型、カードホルダー等の型抜きに使用。</p> <p><手工芸班> ・手工芸班では、小物入れやリース作りにおいて、飾る小さなパーツの型抜きに使用。</p> |
| 物品の使用による 変化や効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、木づちで何度も型を叩いて時間をかけて型抜きしており、時間がかかっていたが、ハンドプレス機を使用することで、安全に簡単に効率よく型抜きすることができるようになった。 ・プレスをする時に、型が小さいものも比較的大きいものを簡単に型抜きすることができるため、作業時間の短縮や製品の質の向上、製品数の伸びが見られるようになった。 |
| 今後の活用の 見通しや課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・操作方法が簡単で、安全に型抜き作業ができることから、木づちでの型抜きは難しい生徒も、ハンドプレス機を使用し繰り返し行うことで、自信を持って型抜き作業を行うことができるようになった。 ・各班、ハンドプレス機が1台なので、多くの生徒が道具を使って取り組める環境づくりをしたいと考えている。 |
| その他 希望や所感など | <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈して頂き、ありがとうございました。 今後も生徒たちとどんな製品がお客様に喜ばれるかを考え、よりよい製品作りをしていきたいと思っております。 |

2. 活用の様子

<革工芸班>

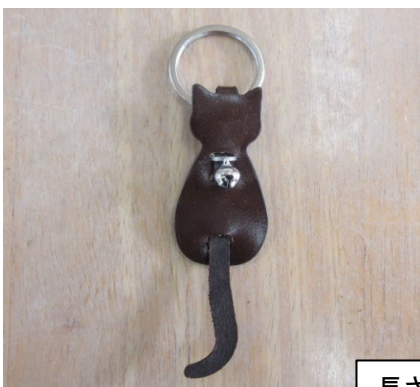
肉球(犬・猫)キーホルダー



ハンドプレス機で型を抜き、
組み合わせて肉球キーホルダーを作りました。



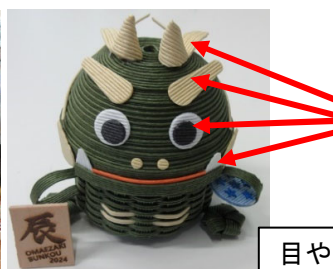
猫キーホルダー



長さ20cmぐらいの抜型ですが、位置をずらしながら型を抜きます。

<手工芸班>

龍の小物入れ



目や牙等の部品パーツ抜型

販売会に向けて、クラフトバンドでたくさんの
パーツを作りました。繰り返すことで、自信
を持って型を抜く生徒も増えてきました。